

第4章 文化芸術推進の各施策と取組

基本目標1 地域の特性を活かしたまちづくり

施策1

誰もが文化芸術を鑑賞し、または、文化芸術活動に参加する機会の提供及び充実

市民一人ひとりが生きがいと心豊かな生活を送るため、身近な場所で多彩な文化芸術に触れる機会を提供します。また、ニーズに応じた文化芸術の情報を発信できるよう情報収集に取り組みます。

現状と課題

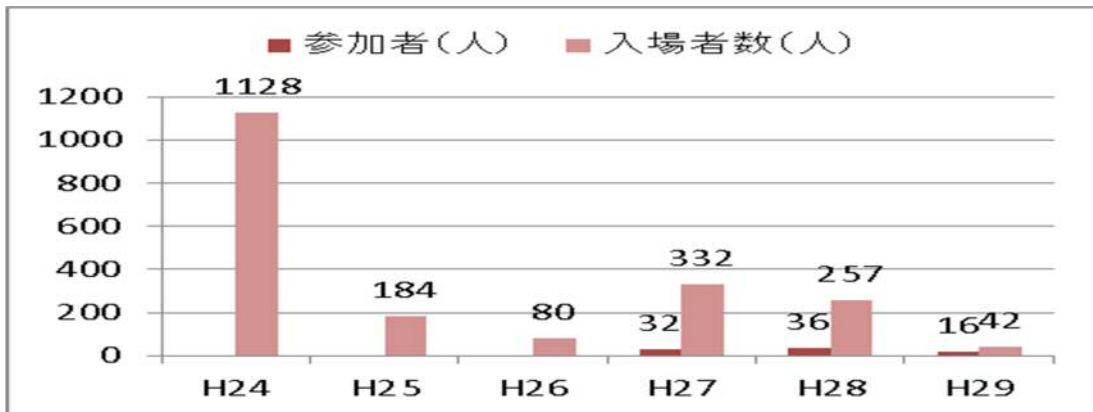
文化事業参加者・利用者アンケートでは、身近な施設で質の高い芸術に触れる機会が少なく、また、その機会があっても幅広く情報が入手しづらい（行き届いていない）との結果があります。魅力的な文化プログラムを提供する機会が少なかったり、プログラムの魅力を最大限に生かす広報の工夫がなければ提供につながっていない状況といえます。

実績の推移

文化芸術鑑賞事業

魅力的なプログラムを提供するため、これまで、多彩なジャンルの鑑賞事業を実施しましたが、開催時期・ジャンル・会場等により入場者数に差があります。また、情報発信の工夫等による影響もあると考えられます。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加者（人）	—			32	36	16
入場者数（人）	1,128	184	80	332	257	42
場所	旧田中家住宅			リリア		
内容	漆芸展	津軽三味線	落語	生け花	生け花	民謡



主な取組

1-1-① 鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の提供

市民の中には文化芸術を敷居の高いものにとらえている人もいないのでしょうか。そこで、市民の誰もが広く文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術のそれぞれの分野に偏ることなく、関心や興味を引き出せるようにします。例えば、無料で良質な音楽を聴く機会の提供や展覧会、ワークショップなどの体験的取組を実施します。

事業 1-1-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化芸術鑑賞事業	事業概要	市内在住等の文化芸術の活動者を講師として招き、小学生～高校生を対象に、伝統文化を中心に幅広い分野の文化芸術の体験型の芸術鑑賞を提供する。					継続
	改善の方向性	無料情報誌、キャストビジョン等を活用した早めの情報周知に努め、参加者及び観覧者を増やします。					取組状況(実施中)
	36人	32	34	36	38	40	指標(参加者数)
市民コンサート事業	事業概要	身近な施設で、多様なジャンルの良質な生きた音楽に触れる機会を提供するためコンサートを実施する。					継続
	改善の方向性	無料情報誌、キャストビジョン等を活用した早めの情報周知に努め、多種多様な場において、コンサートを行い入場者数を増やします。					取組状況(実施中)
	87%	94	96	98	100	100	指標(入場率)
映画祭関連事業	事業概要	世界各国からのデジタル映画の募集と顕彰を行う。活動サポートや市場参入のためのイベントを実施する。					継続
	改善の方向性	経済状況の悪化による入場者数、協賛企業の減少を防ぐため解消策を検討していきます。					取組状況(検討中)
	58%	64	64	64	64	64	指標(着席率)
アートギャラリー企画関係(企画展)	事業概要	市民の美術に対する意識の高揚を図るため、展覧会、講演会、ワークショップ等を実施する。					継続
	改善の方向性	新聞等のメディア、WEB等を活用し情報周知に努め、参加者や観覧者を増やします。					取組状況(実施中)
	14,856人	15,080	15,155	15,231	15,307	15,384	指標(入場者数)
親子ふれあい事業(親と子の音楽会)	事業概要	コンサートや合唱、オーケストラ等の鑑賞を通して、子どもの情操を養い、青少年の健全育成に望ましい家庭環境づくりを促進する。					継続
	改善の方向性	会場規模の見直し等を行い、多くの子どもに鑑賞機会を提供します。					取組状況(検討中)
	547人	540	540	540	540	540	指標(来場者数)

1-1-② ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実

世代や地域、生活様式の違いなどにより、市民の求める情報は千差万別です。現在、実施している事業毎に聴取する利用者アンケート調査を、詳細に分析し市民のニーズを捉えることを目標とし実施します。結果は、定期的に反映できるような仕組みをつくり、アンケートの利用価値を高めていきます。また、高齢や障害の有無、外国人等を理由とした情報弱者に対しても等しく必要とされる情報を発信できるように実施します。

市民意識調査では、「情報が少ない」という意見とともに「情報を得る手段がない」との意見も多くありました。広報媒体として、広報かわぐちだけでなく、チラシの配布、ポスターの掲示、ホームページの発信などを実施するものの、市民の意識下ではいまだ「少ない」という捉えかたをされています。一方的な情報発信ではない、SNS^{注1}の活用などによる、新しい広報手段を研究し、実施します。

事業 1-1-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
情報収集 発信事業 (利用者 アンケート 調査)	事業概要	文化芸術イベントにおいて参加者アンケートを実施し、事業の見直しに活用する。					新規
	改善の 方向性	収集した統計情報から、詳細な分析を実施し、計画の見直しや事業の改善に反映できるよう検討します。					取組状況 (検討中)
	—	研究	分析	分析	実施	実施	指標 (一)
情報収集 発信事業 (アート ギャラリー 事業運営)	事業概要	展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究を行う。また、美術及び館運営等に関する情報収集を行う。					継続
	改善の 方向性	広報誌での周知のみならず、学校等との連携、新聞等のメディアやWEB等での広報活動を検討し、参加者の増加に努めます。					取組状況 (検討中)
	—	616箇所	616	616	616	616	指標 (配布箇所数)
情報収集 発信事業 (文化芸術 ニュース 発行)	事業概要	市内における文化芸術活動の情報周知のため、年4回の文化芸術広報ニュースを発行する。					新規
	改善の 方向性	ホームページや広報での周知により、公設・民間の設置箇所を増やすとともに、情報掲載希望者を増やします。					取組状況 (検討中)
	—	—	70箇所	75	80	85	指標 (設置箇所数)
情報収集 発信事業 (文化団体等 への情報発 信)	事業概要	各委員会等において、団体との打合せ時に周知する機会を設ける。					新規
	改善の 方向性	文化団体を登録制にし、双方向の情報のやり取りができるよう研究し、情報の送受信の仕組みを導入します。					取組状況 (検討中)
	—	研究	12回	12	24	24	指標 (送受信数)

注1 SNS (ソーシャルネットワークサービス) インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計されたサービス

1-1-③ 文化芸術活動支援の充実

文化事業参加者・利用者アンケートでは、市民で何らかの文化芸術活動に参加している人は、約59%でした。文化芸術は、ゆとりとうるおいをもたらす、その活動により、生きがいをもち心豊かな生活が営まれます。現在、文化芸術活動に対し、成果の発表の場を提供する支援や広報面での支援、活動に係る経費に対する直接的な助成などを実施しています。また、広く研修の場を提供したり、第三者や他の団体との連携を支援したり、その事業への支援の方法は多岐にわたります。

一方で、行政の支援は、活動者の自主性・主体性を尊重したものであることが重要です。直接的な支援に加えて、間接的な支援を行うことが、より多くの市民の方に影響を与えることが可能となることから、より安定的に継続的に支援を実施していきます。

事業 1-1-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
社会教育 団体 補助事業	事業概要	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・発展を図る。					
							継続
	改善の 方向性	各団体の自主的な活動を尊重し、継続的に助成します。					取組状況 (実施中)
							指標 (一)
文化団体 補助事業 (文化団体 連合会・ 市民音楽 協会)	事業概要	市内の文化芸術活動を担う団体への財政的な支援を行う。					
							継続
							新規
	改善の 方向性	財政面での支援を維持しつつ、会員募集等の周知を実施します。					取組状況 (検討中)
	117 団体	124	126	128	128	128	指標 (文化団体 連合会 加盟団体数)
62 団体	62	62	62	62	62	指標 (川口市 民音楽協会 加盟団体数)	
文化芸術 指導者活用 事業	事業概要	豊富な技芸のある文化芸術団体の指導者を紹介し、部活動、授業等の教育活動一環として活用する。					
							継続
	改善の 方向性	学校との連携体制をつくり、紹介数を増やします。					取組状況 (実施中)
	1 回	4	5	6	7	8	指標 (紹介数)

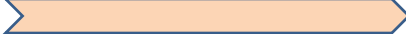


事業 1-1-③		H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化振興交付事業	実行委員会	事業概要	文化団体連合会及び市民音楽協会加入団体の成果の発表として実施する文化祭に対し、その運営の財政的支援を行う。					継続
		川口市文化祭						
		改善の方向性	各団体独自の広報以外での「川口市文化祭」全体の広報活動の強化を行っていきます。					取組状況(実施中)
		9,408人	9,600	9,800	10,000	10,000	10,000	指標(入場者数)
		事業概要	小学生～高校生対象のピアノコンクールに対し、その運営の財政的支援を行う。					継続
		川口市青少年ピアノコンクール						
		改善の方向性	優秀者の記念コンサートを実施するなど人材育成に注力した見直しを行います。					取組状況(実施中)
		242人	250	250	250	250	250	指標(出場者数)
		事業概要	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の美術作品の公募展に対し、その運営の財政的支援を行う。					継続
		川口市美術展						
	改善の方向性	出品数及び観覧者数が増えるよう周知方法を見直します。会場の使用方法を改善し、観覧しやすいように検討します。					取組状況(実施中)	
	475点	480	485	490	495	500	指標(出品数)	
	4,740人	4,800	4,900	5,000	5,100	5,200	指標(観覧者数)	
	事業概要	3年に1度、文化団体連合会加盟団体の成果を発表する芸術祭に対し財政的支援を行う。					継続	
	芸術祭							
	改善の方向性	募集周知等により、文化団体連合会の会員数及び加盟団体数を増やし、芸術祭の参加団体を増やすことに努めます。					取組状況(実施中)	
	16団体(H27)	-	-	18	-	-	指標(参加団体数)	
	事業概要	川口独自の和太鼓コンクールに対し財政的支援を行う。					継続	
	川口市初午太鼓コンクール							
	改善の方向性	太鼓の練習会場の確保のため、地域の和太鼓に対する理解と関心を引き上げる周知を支援します。					取組状況(実施中)	
55団体	55	55	55	55	55	指標(参加団体数)		
文化振興助成事業	事業概要	文化芸術団体が行う作品の展示・成果の発表や刊行物の発行に対し財政的支援を行う。					継続	
	改善の方向性	市への申請数を維持しつつ、国県企業等の助成を申請できるような団体を支援します。					取組状況(実施中)	
10件	10+2	10+2	10+4	10+4	10+6	指標(市申請数+他団体申請数)		

1-1-④ 高齢者、障害者の文化芸術活動の促進

等しく誰もが、文化芸術に触れ、鑑賞し、参加する機会を創出するための環境整備は、ときに高齢者のためであり、障害者のためである必要があります。施設を建設するにあたって、ハード面でユニバーサルデザインの視点が必要なように、文化芸術には、ソフト面での対応が望まれているところです。

これまでは、誰もが参加できるという方針で執行されている事業であっても、それは主催者側の視点であることは否めません。真に、誰もが参加するにあたっては、高齢者や障害者にも特化し、きめ細かい対応が必要です。今後は、日頃の活動に積極的に高齢者や障害者が参加できる仕組みをつくり、成果を発表する場を創設するなど、より一歩踏み込んだ事業展開を実施します。

事業 1-1-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
特別支援学級 合同作品展 事業	事業概要	市立の小中学校に設置する特別支援学級在籍の児童生徒の学習の成果物を作品展示する。					継続
	改善の 方向性	特別支援学級設置学校長会議等で充実した展示会場の確保や適切な周知について検討します。					取組状況 (実施中)
	27校	31	31	31	31	31	指標 (参加 学校数)
	2,130人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	(指標) 来場者数
アート ギャラリー 事業運営 (障害者対象)	事業概要	貸しギャラリーの利用において障害者福祉作業所における作品を展示できるよう支援する。					新規
	改善の 方向性	市民が成果を公表する市民ギャラリーの利用に偏りや未利用が無いよう周知広報を工夫します。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	1回	1	1	指標 (開催数)
盛人大学 事業	事業概要	50歳以上のかたを対象に交流と地域活動の機会を提供し、社会教養コースにおいては、文化や芸術に親しみ、知識を活かすことで卒業後の社会貢献活動の活性化を図る。					継続
	改善の 方向性	公開講座の実施や広報活動により市民への周知・浸透を図るとともに、社会貢献団体などと連携しながら講座内容の充実を図ります。					取組状況 (実施中)
	295人	300	300	300	300	300	指標 (受講者数)
地域 活動支援 センター 施設運営	事業概要	社会適応訓練の一環として在籍する利用者が創作活動（陶芸・組紐・書道講座等）を行い、その作品を市民に向け発表する。					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知などの実施方法について検討を重ねていきます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)

事業1-1-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化芸術活動参加促進事業 (高齢者対象)	事業概要	文化団体連合会と連携し、参加を促進する初心者教室を開催する。 					新規
	改善の方向性	身近な施設で文化芸術に触れる機会を増やすとともに、生きがいにつながるきっかけ作りとして定年退職したかたが、地域での活動を開始する機会を提供します。					取組状況 (検討中)
	-	試行	試行	開始	実施	実施	指標 (-)
文化芸術活動参加促進事業 (障害者対象)	事業概要	共催事業として、ミニギャラリーで障害者事業所のアート作品を展示する。 					新規
	改善の方向性	施設内外での文化芸術に係る成果を公表する機会を創出します。発表の場の周知を拡大します。(本庁舎建替のため小規模実施を検討)					取組状況 (検討中)
	-	20点	検討	検討	検討	検討	指標 (出品数)
文化芸術活動参加促進事業 (外国人対象)	事業概要	芸術鑑賞事業・市民コンサート事業等の既存のイベントに参加を促進する。 					新規
	改善の方向性	担当関連部署との協力により、共同事業として検討していきます。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	研究	研究	実施	指標 (-)

1-1-⑤ 文化芸術活動の場及び発表の場の提供

文化芸術活動に励んでいるかたは、アンケート結果によるとその成果を発表する場や鍛錬するための場の確保に苦慮されていることがわかります。練習用の広い場所や防音設備が整っている場所が必要であったり、また、時間的制約がある中で、誰もが活動の質を高めるよう努力されています。

一方、ライフスタイルが変化し、多様化する市民生活の中で、文化活動に対する意識の差も生じています。そして、成果を発表する場においても、個々に異なる文化芸術の分野に適した文化施設・社会教育施設は限られており、効率的な場所の確保は困難な状況です。今後は、施設予約の方法のあり方も含め、検討していきます。

事業 1-1-⑤	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
アート ギャラリー 事業運営 (貸館事業)	事業概要	アートギャラリー展示室 A、展示室 B、スタジオの貸出しを行う。					
							継続
	改善の 方向性	広報活動を工夫して、より広く市民へ周知を図っていきます。					取組状況 (実施中)
	7,004 人	7,109	7,145	7,181	7,217	7,235	指標 (利用率)
川口総合文化 センター 指定管理者 管理運営 事業 【後掲】	事業概要	指定管理者により、川口総合文化センターの管理運営に関する業務及び地域に対する文化芸術の振興を行う。					
							継続
	改善の 方向性	利用者のニーズに応じた施設運営の実現を目指し、利用方法などの周知に努めます。					取組状況 (実施中)
	77.2%	87	90	93	96	100	指標 (全館平均 の利用率)
公民館 施設運営 【後掲】	事業概要	公民館の利用団体における文化芸術活動の発表の場として、館の文化祭を実施する。					
							継続
	改善の 方向性	地域住民の教養・学習意欲の向上を図る地域コミュニティの拠点として機能するよう努めます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
文化会館 施設運営 【後掲】	事業概要	文化芸術活動の発表の場や練習の場として提供する。					
							継続
	改善の 方向性	市民の音楽・演劇・舞踊等の練習の場及び作品展示ホールとして活用してもらえよう利用団体への周知活動を拡大します。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)

事業1-1-⑤	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
ミニ ギャラリー 貸出事業	事業概要	本庁舎1階ロビーのミニギャラリー文化芸術活動の発表の場として提供する。(平成31年度以降は本庁舎立替のため小規模実施を検討)					継続
	改善の方向性	本庁舎が使用できない間の代替の場所を検討していきます。					
	82%	88	検討	検討	検討	検討	指標 (利用率)

施策2

地域に根ざした文化芸術を活用したまちづくりの推進

市民・企業・行政が三位一体となって文化芸術を支援する仕組みづくりを確立し、文化芸術でうるおいのある豊かなまちづくりを推進する牽引力を創出します。

現状と課題

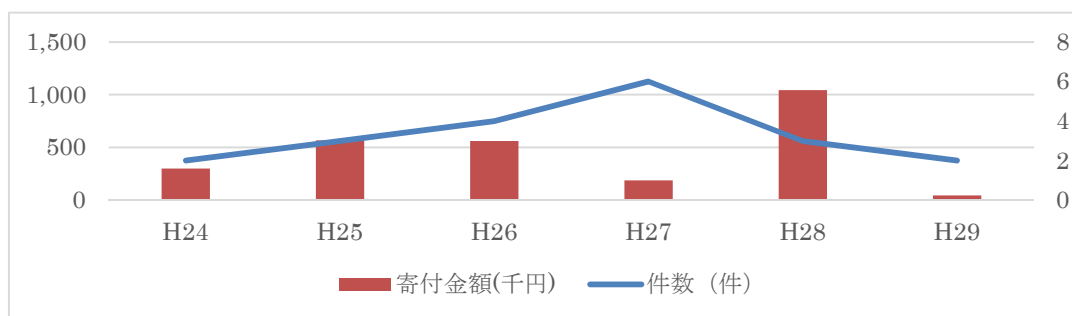
本市では、安行の植木や鋳物産業を中心とした製造業が盛んであり、「ものづくりのまち」として発展してきました。それらの産業とともに、市民には、文化芸術の礎が育まれています。一方、全国的には、大企業の社会貢献の一環として、文化芸術活動を助成する仕組みが増えています。また、音楽や演劇・舞踊などは、商業芸術として発展してきており、それらの企業には、芸能の継承のため、地域における市民との協働を試みる団体もあります。本市においても、地域に根ざした、文化芸術を企業としても支援しようとする試みが築かれ始めています。

実績の推移

文化振興基金事業

心豊かな、うるおいのある地域社会の創造に寄与するため、これまで、市民の皆様や企業からの寄付と市の出資金を財源に運営してきましたが、年度によって寄付金額の変動が大きいことから、今後、市の文化芸術活動がより一層活発に推進されるよう、安定した寄付を募るための対策を検討しなければなりません。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数(件)	2	3	4	6	3	2
寄付金額 (千円)	300	566	562	187	1,045	45



1-2-① 市民・企業との協働

「文化芸術振興条例」の中で、市（長）の役割は、「本市の特性を考慮し、文化芸術の振興に関し、必要に応じて体制の整備を図り、総合的に推進するものとする」と定められております。また、市民の理解と交流として、文化芸術の活動を行うことを通じ、「相互に理解し、尊重し、交流を深める」ことを努めるとされています。文化芸術活動は、自主的に実施することは基本理念においても定められていますが、その自主性こそが、創造性豊かな活動の源になるものでしょう。

さらに、「文化芸術基本法」では、文化芸術団体の役割として、「文化芸術活動の充実を図るとともに、文化芸術の継承、発展及び創造に積極的な役割を果たす」ことが掲げられており、また、関係者は、「相互に連携を計りながら協働するよう」努めるものとされています。

関係者とは、国・市等の行政のほか、活動団体・個人・民間企業者も含まれるものです。つまり、文化芸術の振興には、その役割をそれぞれが認識し、相互の交流・連携を進めることが第一歩になるといえるでしょう。

企業の視点からみれば、文化芸術活動への支援は、社会貢献の一環として企業のイメージアップにつながるだけでなく、経営的戦略につながるメリットがあります。一方、市民や活動団体も、企業の応援のもと地域に根ざした活動を進められることのメリットが享受できます。今後は、商業施設での成果の発表の場や、企業敷地内での活動の場の確保などの支援の協力を求め、両者との協働を目指していきます。

事業 1-2-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
市民との協働	事業概要	文化芸術に係る団体と地域の自治団体との橋渡し役としてコンシェル事業を実施する。					新規
	改善の方向性	文化芸術に係る団体だけでなく、個人にも還元できるような仕組みを検討し、情報発信ができるよう連携します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	検討	実施	実施	指標 (-)
企業との協働	事業概要	財政的支援を実施する企業からの斡旋・企業への斡旋等を行う。					新規
	改善の方向性	公平性や公益性を確保しつつ、企業からの支援や助成が広く活用できるよう情報発信の手法を工夫します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	検討	実施	実施	実施	指標 (-)

事業1-2-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35		
社会教育活動 運営事業	事業概要	社会教育関係委員会議を開催し事業内容を審議する。						継続
	改善の 方向性	委員を通じ、市民の意見が反映できるように継続して実施していきます。						取組状況 (実施中)
	37回	36	36	36	36	36	指標 (審議会 等回数)	
社会教育団体 育成事業	事業概要	社会教育団体のリーダーとして必要な知識の習得や研修会の実施など団体の学習活動等の支援をする。						継続
	改善の 方向性	主体的な参加が求められることから、工夫し継続して実施していきます。						取組状況 (実施中)
	37回	35	35	35	35	35	指標 (事業実 施回数)	
観光事業 【後掲】	事業概要	日光御成道で結ばれた川口宿、鳩ヶ谷宿を舞台に、日光社参行列の再現等を行うイベントを4年に1度、開催する。また、名所や歴史的文化的財等をコースに組み込んだ市内観光ルートマップを作成する。						継続
	改善の 方向性	日光御成道の川口宿・鳩ヶ谷宿周辺の商店街活性化や観光スポットのPR活動を各関係団体と連携して進めていきます。						取組状況 (実施中)
							指標 (-)	
文化振興 基金事業	事業概要	文化芸術団体の活動を助成する文化振興助成事業の財源となる、市民や企業・団体等からの寄付金(文化振興基金)を募集する。						継続
	改善の 方向性	寄付金が増えるよう、基金の広報周知に工夫します。						取組状況 (実施中)
	3件	3	3	4	4	5	指標 (件数)	
	1,045,000 円	300,000	300,000	400,000	400,000	500,000	指標 (金額)	

1-2-② 歴史的文化遺産の有効活用

本市には、長い歴史の中ではぐくまれてきた、本市特有の伝統芸能や民俗芸能があり、歴史的に価値のある文化遺産として認識され守られてきました。市の貴重な財産であるとともに、市民の誇りであり、市への愛着をもたらすものでもあります。特に、国登録有形文化財である旧田中家住宅は、本格的な木造煉瓦造の洋館と和館が並び立つ建築物であり、これまでも、コンサートや茶会、美術作品の展覧会として活用されており、多様な市独自の文化活動の発表に応えることが可能な文化遺産です。

今後の利活用においては、市民の熱意ある活動に対応できるよう、市の様々な事業との連携を図るほか、企業との協力体制を整えることにより、新たな視点を加え実施します。



事業 1-2-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
歴史的建造物 施設運営事業 【後掲】	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。					継続
	改善の 方向性	文化芸術活動の発表の場としての活用をはかり、文化財としての理解と関心を高く引き出します。					取組状況 (実施中)
	7,065人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標 (来館者数)
無形文化財の 利活用	事業概要	無形文化財の発表の場に対し広報の支援をする。					新規
	改善の 方向性	市民が愛着をもてる文化イベントを開催し、文化財保護の意識の向上を図ります。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	1回	1	2	指標 (イベント 開催数)
観光事業 【再掲】	事業概要	日光御成道で結ばれた川口宿、鳩ヶ谷宿を舞台に、日光社参行列の再現等を行うイベントを4年に1度、開催する。また、名所や歴史的文化財等をコースに組み込んだ市内観光ルートマップを作成する。					継続
	改善の 方向性	日光御成道の川口宿・鳩ヶ谷宿周辺の商店街活性化や観光スポットのPR活動を各関係団体と連携して進めていく。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
史跡等管理事 業	事業概要	国指定重要有形民俗文化財「木曾呂の富士塚」及び県指定旧跡「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、施設の修繕、土地の借上げ等を行う。					継続
	改善の 方向性	国指定重要有形民俗文化財「木曾呂の富士塚」及び県指定旧跡「赤山城跡」の文化財としての理解と関心を高く引き出します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	研究	検討	検討	指標 (PR方法 等検討)

1-2-③ 歴史的文化遺産の情報発信の充実

歴史上・学術上高い価値がある、本市所有の文化遺産は、それぞれ調査・記録・保護・保存の必要があります。これらの文化遺産は、本市の観光の欠かせない柱でもあり、地域経済の活性化につながるものでもあります。

文化遺産の利活用の拡大は、市だけでなく、市民や企業が連携して活用できるようにするためにも、その魅力の再認識・再発見となるよう、情報を集約し発信していく仕組みを作ります。

特に、次世代を担う若年層で構成された団体や市民のかたにも興味関心をもっていただけるようなSNSを活用した仕組みとし、事業1-1-②の事業とともに、高い頻度の更新による、新鮮な情報を取り込んだものとしします。

事業1-2-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
情報収集 発信事業 (発信の 仕組み作り)	事業概要	歴史的文化遺産への関心が高いかたちの情報受信手段を研究し、その仕組みを分析します。 					新規
	改善の 方向性	誰もが気軽に情報を得られる仕組みをつくります。 他の文化遺産の情報発信の好事例を研究します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	仕組み づくり	集約・ 発信	集約・ 発信	指標 (-)
情報収集 発信事業 (情報発信 の拡大)	事業概要	ポスター掲示・チラシ配布・ホームページ掲載等の既存の広報手段を実施する。 					新規
	改善の 方向性	情報弱者を生みださないよう発信方法を工夫します。 既存の広報手段を望む人たちから、その手段を排除せずに拡大できるように見直します。					取組状況 (検討中)
	-						指標 (-)